

[illegible]

シードの特色は、『学校教育課程後の円滑な地域移行』を目指した支援です。

◎今、活動している「学校」と、卒業後の「地域社会」とでは、活動環境に期待できる『配慮』や『支援』のレベルに大きな差があります。

卒業後の就労や自立生活等の可能性を広げていくためには、学ぶべき年齢・時期に、必要な学習を行い、一つひとつスキルを獲得していくことがとても重要です。

～ シードの主な活動内容 ～

①社会や職場で求められる基礎スキルの確認・育成

- 整理整頓 ●衛生管理 ●身だしなみ ●あいさつ ●返事 ●勤怠管理
- 時間の意識 ●予定・指示の確認 ●身だしなみ ●協調性
- ルール・規則の順守 など



②生活の自立度向上

- 自立通勤（通学）の練習・学習 ●公共交通機関の利用体験・学習 ●交通規則の学習
- 自立生活力の向上（雑巾絞り、掃除、テーブル拭き、炊飯、調理、配膳、食器洗浄、洗濯、衣類たたみ、買い物体験、ごみの分別学習、地域生活資源の見学体験 等）
- 生活管理学習 など



③労働の理解向上や職業適正等の確認整理

- 作業学習（作業手順・指示の順守、作業の正確性、活動や成果等への責任意識、作業時間の意識、報告・連絡・確認・相談等の習慣化、姿勢の保持 など）
- 体験を通じた作業適正・障害特性の確認～把握
- 協働・連帯意識の向上
- 職能訓練 ●職場見学
- 職業体験機会の提供
- ハローワーク見学体験 など



④卒業後の進路学習・相談 等

- 家族への相談援助 ●学校、児童支援関係機関等との連携
- 家族や学校等への進路等相談援助
- 進路検討時の事業所説明・見学等の機会提供
- 障害者就労等に係る制度施策、サービス制度等の説明 など



将来、社会参加を果たし、自分らしい生活を送るためには、それらに必要な力を獲得するための『機会の提供』と、その『活動を見守り、認め、その成長を支える環境』が必要です。
家庭を中心とした療育環境こそが、1人ひとりの将来の可能性を広げる、最良の支援と言えます。

◎シードは、将来の就労等に向けがんばる児童と家族の活動を応援します。